



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社キングジム
コード番号 7962

上場取引所 東

URL <https://www.kingjim.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 宮本 彰

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
兼CFO (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883

四半期報告書提出予定日 2023年10月31日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年6月21日~2023年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	8,144	△6.1	△388	—	△215	—	△229	—
2023年6月期第1四半期	8,670	10.0	△87	—	34	△90.1	△52	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 20百万円(△95.0%) 2023年6月期第1四半期 419百万円(103.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△8.03	—
2023年6月期第1四半期	△1.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第1四半期	36,199	24,654	67.9	861.02
2023年6月期	35,812	24,833	69.1	867.29

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 24,567百万円 2023年6月期 24,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年6月21日~2024年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	△3.1	△540	—	△300	—	△200	—	△7.01
通期	40,000	1.5	0	△100.0	280	△56.1	260	△38.1	9.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年6月期1Q	31,459,692株	2023年6月期	31,459,692株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年6月期1Q	2,926,776株	2023年6月期	2,926,776株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年6月期1Q	28,532,916株	2023年6月期1Q	28,501,858株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- ・決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

決算補足説明資料 <https://www.kingjim.co.jp/ir/library/tansin.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直す動きがみられました。一方で、世界的な金融引き締めに伴う為替変動や継続的な物価上昇の影響により、今後の国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、第10次中期経営計画(2022年6月期から2024年6月期)の目標達成に向けた取り組みを実行してまいりました。「テブラ」やファイルといった基盤事業のさらなる強化を図りつつ、インテリアライフスタイル事業や衛生・健康用品の拡販、M&Aによる事業領域拡大など、成長分野への注力をしております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、2023年2月に吸収合併した㈱エイチアイエムの売上寄与もありEC事業が伸長したものの、売上高は81億4,433万円(前年同期比6.1%減)となりました。利益面では、価格改定による原価率の改善がございましたが、円安進行により大きな改善とはならず、販管費の増加もあり、営業損失は3億8,850万円(前年同期は8,710万円の営業損失)、経常損失は2億1,570万円(前年同期は3,494万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億2,912万円(前年同期は5,288万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

基盤事業の「テブラ」では、「テブラ」PROシリーズのスマートフォン専用モデルであるラベルプリンター「テブラ」PRO“MARK”SR-MK1に新色のブラックを追加し、ご家庭だけでなく、ビジネス用途としても幅広く活用いただいております。インバウンド需要の回復を受けて外国語表示のラベルを提案するなど、新たな用途提案を積極的に行うことで、売上拡大に努めてまいります。また、これまで「テブラ」を使用していなかった方向けに、職場での「テブラ」の活用法を紹介するWEBCMをはじめ、ラベリング需要の掘り起こしを図るため、各種販促・広告活動を展開しております。

成長分野の各カテゴリにおきましては、世の中のニーズに応える商品を開発し、市場に投入いたしました。デジタル文具では、受験勉強や資格試験をサポートする商品として、学習タイマー「ルラップ」を発売いたしました。スタイル文具では、日々をたのしむ文房具、HITOTOKIシリーズにおいて好評をいただいている、貼ってはがせる透明フィルムのマスキングテープ「SODA」の新作を発売いたしました。事業拡大のための施策としては、得意先の新規開拓を専門に行う新規開拓部を新設し、チャンネル開拓の推進体制を強化いたしました。また、社会の変化に対応する商品の提案活動に力を入れて取り組んでおります。道路交通法施行規則の改正により、一般事業者までアルコールチェックが義務化対象となることに先立ち、「アルコールチェッカー」のキャンペーンを行っております。加えて、障害者差別解消法の改正により義務化される合理的配慮の提供に向けた商品として、電子メモパッド「ブギーボード」や、引き続き求められる感染症対策として、CO2濃度を感知して見える化する「CO2モニター」を自治体や教育機関に提案し、需要の拡大に向けて活動しております。また、3年半ぶりとなる展示・販売イベント「キングジムフェア2023・夏」を2023年7月に開催し、当社グループ各社の商品を実際に手に取って体感していただくことができました。今後もこのような活動を通じて当社商品の市場への浸透を図り、事業の成長を推進してまいります。

しかしながら、「テブラ」や手指消毒器「テッテ」の販売減などの影響により、売上高は52億3,215万円(前年同期比5.6%減)、価格改定による原価率の改善があったものの、販管費等の増加により、営業損失は4億6,508万円(前年同期は1億8,047万円の営業損失)となりました。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、主力の収納用品は堅調な売上を維持しましたが、テーブル・デスクなどの大型家具が低調に推移しました。新製品は、主力の組み立て家具に加え、ペンダントライトなどの照明も発売いたしました。ライフオンプロダクツ㈱では、2023年5月に立ち上げた社名を冠した新プロダクトブランド「Life on Products」から、第一弾として6月にノンフロン冷凍庫・電動フロアモップを、第二弾として7月にデスククリーナーなどの家事生活雑貨を発売いたしました。㈱ラドンナでは、主力のキッチン家電の販売がコト消費への移行の影響により鈍化しましたが、夏季商材が家電量販店を中心に好調で、販売復調に貢献いたしました。㈱アスカ商会では、主要な小売店および前期好調だったフォトスタジオ関係も前年実績割れとなり、厳しい状況でした。

この結果、売上高はインテリアライフスタイル事業全体で、29億1,218万円（前年同期比 6.8%減）、値上げ効果や新製品の導入で原価率はやや改善したものの、売上減の影響が大きく、営業利益は 7,437万円（前年同期比 19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億8,750万円増加し、361億9,965万円となりました。これは主に、現金及び預金や売掛金が減少した一方、商品および製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して5億6,633万円増加し、115億4,514万円となりました。これは主に、運転資金需要として短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1億7,882万円減少し、246億5,450万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加した一方、第75期期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月1日に公表いたしました2024年6月期第2四半期（累計）および2024年6月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想および中期経営計画の計画値修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,372,104	5,647,661
受取手形	419,505	213,321
売掛金	4,647,476	4,195,412
商品及び製品	10,003,871	11,441,676
仕掛品	392,743	385,575
原材料及び貯蔵品	1,457,402	1,513,144
その他	814,015	871,750
貸倒引当金	△385	△308
流動資産合計	24,106,732	24,268,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,163,085	6,211,392
減価償却累計額	△4,054,465	△4,119,098
建物及び構築物(純額)	2,108,619	2,092,294
機械装置及び運搬具	3,281,832	3,373,501
減価償却累計額	△2,986,364	△3,084,340
機械装置及び運搬具(純額)	295,467	289,160
土地	1,582,384	1,586,084
建設仮勘定	170,930	207,190
その他	2,999,850	3,044,898
減価償却累計額	△2,759,704	△2,785,113
その他(純額)	240,145	259,785
有形固定資産合計	4,397,548	4,434,515
無形固定資産		
のれん	1,468,377	1,408,237
その他	751,694	812,414
無形固定資産合計	2,220,071	2,220,651
投資その他の資産		
投資有価証券	2,937,881	3,093,221
退職給付に係る資産	1,516,615	1,544,257
繰延税金資産	196,139	196,368
その他	439,105	444,389
貸倒引当金	△1,949	△1,982
投資その他の資産合計	5,087,793	5,276,253
固定資産合計	11,705,413	11,931,421
資産合計	35,812,145	36,199,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,334,717	1,624,171
短期借入金	3,190,000	3,770,000
1年内返済予定の長期借入金	505,547	491,031
未払法人税等	188,871	57,141
未払金	811,689	933,584
役員賞与引当金	17,952	750
契約負債	35,805	65,415
その他	959,533	921,394
流動負債合計	7,044,116	7,863,488
固定負債		
長期借入金	2,265,384	1,959,501
繰延税金負債	819,665	808,898
退職給付に係る負債	452,213	500,104
資産除去債務	31,447	31,812
その他	365,984	381,341
固定負債合計	3,934,694	3,681,657
負債合計	10,978,811	11,545,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,718,670	1,718,670
利益剰余金	22,279,949	21,851,093
自己株式	△2,587,278	△2,587,278
株主資本合計	23,390,032	22,961,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,048,538	1,162,698
繰延ヘッジ損益	5,179	12,488
為替換算調整勘定	193,884	332,488
退職給付に係る調整累計額	108,612	98,568
その他の包括利益累計額合計	1,356,214	1,606,243
新株予約権	87,088	87,088
純資産合計	24,833,334	24,654,507
負債純資産合計	35,812,145	36,199,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2022年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)
売上高	8,670,587	8,144,336
売上原価	5,438,263	4,953,275
売上総利益	3,232,324	3,191,061
販売費及び一般管理費	3,319,430	3,579,561
営業損失(△)	△87,106	△388,500
営業外収益		
受取利息	3,268	5,149
受取配当金	42,711	63,749
為替差益	45,812	77,218
受取賃貸料	37,314	37,291
その他	14,650	11,623
営業外収益合計	143,758	195,033
営業外費用		
支払利息	8,952	10,136
賃貸収入原価	12,053	11,834
その他	696	269
営業外費用合計	21,703	22,240
経常利益又は経常損失(△)	34,949	△215,707
特別利益		
固定資産売却益	—	1,246
特別利益合計	—	1,246
特別損失		
固定資産除却損	45	560
特別退職金	—	10,278
特別損失合計	45	10,838
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,903	△225,298
法人税、住民税及び事業税	40,941	52,588
法人税等調整額	25,471	△48,762
過年度法人税等	21,275	—
法人税等合計	87,688	3,826
四半期純損失(△)	△52,784	△229,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△52,886	△229,125

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2022年9月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)
四半期純損失(△)	△52,784	△229,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247,381	114,160
繰延ヘッジ損益	△344	7,308
為替換算調整勘定	220,884	138,604
退職給付に係る調整額	4,832	△10,044
その他の包括利益合計	472,754	250,029
四半期包括利益	419,969	20,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,868	20,903
非支配株主に係る四半期包括利益	101	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月21日 至 2022年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,544,672	3,125,915	8,670,587	—	8,670,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,861	82,519	106,381	△106,381	—
計	5,568,534	3,208,435	8,776,969	△106,381	8,670,587
セグメント利益又は損失(△)	△180,471	92,592	△87,878	772	△87,106

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 772千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月21日 至 2023年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,232,155	2,912,181	8,144,336	—	8,144,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,549	64,273	81,822	△81,822	—
計	5,249,704	2,976,454	8,226,158	△81,822	8,144,336
セグメント利益又は損失(△)	△465,089	74,370	△390,718	2,218	△388,500

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 2,218千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。